



JR羽犬塚駅周辺 活性化の施策を問う

問 市長は、羽犬塚駅は南西部地域の浮揚とともに重要なものであると何度となく言われているがその施策について伺いたい。

市長 将来のことを見据えて西側開発は大きなテーマである。そういう意味で、ぜひJRから「西側の方にも改札口をつくらせてください」と言わせるような、方策も当然考えていかなければならないと思っている。

問 羽犬塚駅周辺地区まちづくり提言書の実現性は。

市長 既に北側に向かっての道づくりも開始した。提言に沿った形で努力していきたい。この中で行政窓口と観光情報センターの設置については職員を配置するのか、住民との協働のまちづくりの典型としてNPOを民間の方々に立ち上げていただき運営ができるかできないかを考えている。

水路課設置後の 施策を問う

問 市民が快適で文化的な生活を営む上では、下排水の整備は必要不可欠のものと思うが水路課が新設され2年が経過したが、その成果と今後の施策について伺いたい。

市長 まだ2年ではあるが、残念ながら定員削減の中、

島 啓三 議員

専門の水路課長はいない。誠に残念というか申しわけない。公共事業費の大幅な削減の中、市民のニーズに対応できているとは思っていない。しかし道路以上水路の問題は市民の皆さん大変な嘆き悩み、苦情が多いということも聞いており水路課を設置した以上は積極的にそのニーズに応えていきたいと思っている。

公共施設の避難所の構造は 地震、台風でも大丈夫か

問 3月20日福岡西方沖地震があった。広報6月号で、学校、福祉センター等が避難所として市民へ周知されているが、地震に耐えられるのか。

市長 建築基準法が昭和56年に改正され震度7に耐える基準に変わっているが、まだ筑後市にはそれ以前の建物がある。小学校が2つ、中学校が1つ、サンコア、庁舎の古い部分、全部で約27億円ほどになる。気が重い。

問 補強工事にはお金が掛かるだろうが、避難した所が潰れたでは避難者に申し訳無い。年次計画で耐震診断を。命が大切では。

市長 地震はよそことでは無い。取り組む必要がある。ご指摘のとおり。

高齢者、障害者への 避難情報は

問 住民どうしの連絡、見守り等の取り組みは。

総務課長 地域で自主防災



昭和31年に建てられた市役所庁舎

組織を作ってほしい。

消防本部警防課長 緊急指令台にろうあ者と一人暮らしの高齢者の名前は入力している。消防署に連絡が来たら場所が分かり直ぐに駆けつける。

問 希望者は緊急指令台に入力することはできるのか。
消防本部警防課長 できません。

問 障害者の避難場所では、足、腰が不自由な人に体育館の平場で寝てもらおう。寝ることはできても起き上が

ることは困難。地域にある、福祉施設、養護学校、病院等と地域が連携しての避難場所の確保は考えられないか。

総務課長 避難場所としては将来的な検討課題である。現段階では障害者も避難できる人的体制で対応する。

北島又エ子 議員